

第3章 第7期計画の実施状況の点検

第3章 第7期計画の実施状況の点検

点検1 生活習慣病の予防や健康づくりの推進

1. 生活習慣病予防の取組との連携

(1) 生活習慣病予防の推進 【担当課：国民健康保険課】

【現状と課題】

- ・市内18の医療機関において通年で個別健診を実施しています。また、巡回集団健診を年間で18日間行うなど、特定健診を受診しやすい環境づくりに努めています。また、市の広報誌、広報ラジオ、ホームページ、ハガキ等を活用し、受診勧奨を行うとともに、行政連絡員や民生委員等の協力を得て、未受診者への訪問や架電による受診勧奨を行っています。
- ・40歳～50歳代の若い世代の受診者が少ないため、健診の時間帯や雇用主からの働きかけの促進等、受診者増加に向けた取組の検討が必要です。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行によって、健診受診率及び特定保健指導実施率に影響が出ています。

実績		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
40～74歳 国保特定健診	受診人数	人	4,407	4,402	5,901
	受診率	%	41.0	41.0	51.0
40～74歳 国保特定保健指導	修了者数	人	545	499	460
	実施率	%	78.0	73.0	65.0

(2) 健康づくりの推進 【担当課：国民健康保険課】

【現状と課題】

- ・長寿健診について広報誌やチラシ等による広報活動を行い、未受診者には後期高齢者医療広域連合よりハガキを送付しました。
- ・令和元年度より「健康長寿カレンダー」を作成し希望者に配布することで健康に対する意識の向上に努めています。
- ・後期高齢者への保健指導に関しては、地域包括支援センターが後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて実施しています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
長寿健診受診率	%	29.0	29.0	不明

2. 高齢者の健康増進 【担当課：健康増進課】

【現状と課題】

- ・宮古島市健康増進計画に基づき、健康増進計画推進会議を年1回開催し、各団体等と連携を図りながら推進を図っています。
- ・健康教室や健康講座等も実施しており、市民に対し健康づくりに関する情報提供、健康増進のための環境づくりも行っています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
健康増進計画推進会議	回	1	1	0※
国民健康保険課主催の健康教室および 出前講座の開催(対象：成人)	回 (延)	58	72	54

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により文書で実施

点検2 介護予防・日常生活支援事業の推進（新しい総合事業の推進）

1. 一般介護予防事業の推進

(1) 介護予防把握事業 【担当課：高齢者支援課、地域包括支援センター】

【現状と課題】

- ・委託している2か所の地域包括支援センターに寄せられる情報に基づきながら、介護予防が必要な高齢者の把握を行っています。できるだけ多くの情報を把握するため、事業の周知とネットワークづくりを進め、支援を求める人を、必要とする支援へ繋げられるよう取り組んでいます。
- ・令和2年度には、地域で抱える諸問題を把握するため、高齢者へのアンケートを実施するなど、更なる介護予防への取組強化に向けて事業を進めています。
- ・関係機関からの情報提供や、関係機関との連携は充実してきているものの、住民からの情報提供が少ないことが課題です。

実績		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
情報提供件数 包括みやこ	訪問	件	6	43	168
	電話	件	5	0	0
	来所	件	0	0	1
情報提供件数 包括ひらら	訪問	件	5	0	109
	電話	件	4	0	0
	来所	件	0	0	0

(2) 介護予防普及啓発事業 【担当課：高齢者支援課】

① ワイドー教室

【現状と課題】

- ・転倒防止予防の運動教室です。運動指導士による無理のないプログラムで介護予防と健康維持を図っています。また看護師を配置して健康相談も承れる体制をとっています。
- ・3～4ヶ月と短期プログラムのため、募集期間や事業の周知といった活動面に弱いところがあります。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
年間開催回数	回	60	60	45

② 口腔機能向上講座の充実

【現状と課題】

- ・ 集団（通いの場、事業所、サロン等）における啓発や指導、利用者の状態に合わせた個別指導を実施しています。
- ・ 平成 29 年度から、地域リハビリテーション活動支援事業（口腔と栄養に特化した事業）として地域包括支援センターへ委託して実施しています。

③ 生き生き教室

【現状と課題】

- ・ 高齢者向けに教室を開催し、介護予防に資する知識の普及・啓発、運動器の機能向上、栄養改善を図っており、利用者数は、360 名前後で推移しています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
利用者数	人	363	368	—

④ 通いの場事業

【現状と課題】

- ・ 通いの場事業は、当初、事業の普及啓発を主として実施していましたが、通いの場の設置が進んだことから、通いの場の活動を支援する地域介護予防活動支援事業として事業を実施しています。

(3) 地域介護予防活動支援事業（通いの場事業） 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・ 通いの場（いきいき百歳体操含む）は、市内 43 ヶ所開設されており、その立ち上げ支援や継続支援を生活支援コーディネーターが実施しています。
- ・ 通いの場を通して支え合いや見守りの関係づくりが進む一方で、ボランティアの負担が大きいことや、ボランティアの後継者不足、場所の確保問題（市街地）等の課題があります。また、参加者の高齢化に伴い移動の問題も出ています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
通いの場設置箇所数	か所	44	49	43
平良 A 地区	か所	6	6	5
平良 B 地区	か所	20	21	20
下地・上野地区	か所	4	5	5
城辺地区	か所	10	13	10
伊良部地区	か所	4	4	3

(4) 一般介護予防評価事業 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

※第7期計画期間中は実施なし。

(5) 地域リハビリテーション活動支援事業 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・地域ケア会議で挙げた事例等に対して、更には地域のサロンや通いの場など高齢者の集いの場所等において、口腔・栄養・運動機能・生活動作について、各リハビリテーション専門職が対象者に指導や助言を行い、健康への意識付けや自立支援、重症化防止につながるよう取り組んでいます。
- ・専門職の確保が難しく、新たな人材確保が必要となっています。また、コロナ禍の影響による利用者が減少していることがあげられます。

実績		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
理学療法士派遣件数		件	28	37	17 ^{※1}
作業療法士派遣件数		件	15	18	6 ^{※1}
言語聴覚士派遣件数		件	12	14	5 ^{※1}
歯科衛生士派遣件数(委託)	個別	件	46	65	41 ^{※2}
	集団	件	242	261	106 ^{※2}
管理栄養士派遣件数(委託)	個別	件	55	120	40 ^{※2}
	集団	件	10	13	21 ^{※2}

※1 令和2年12月現在 ※2 令和2年11月現在

(6) 生活支援ホームヘルプ事業 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

※第7期計画期間中は実施なし。

2. 介護予防・生活支援サービス事業の推進

(1) 訪問型サービスの推進（第1号訪問事業） 【担当課：高齢者支援課】

① 旧介護予防訪問介護相当のサービスの実施

【現状と課題】

- ・継続して実施しています。直近の利用者数は減少傾向になっています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用件数（延べ）	件	2,356	2,193	2,020

② 緩和した基準による訪問型サービスの実施（訪問型サービスA）

【現状と課題】

- ・市のサービス基準を設定し、平成30年度より事業所に委託して実施しています。
- ・緩和した基準によるサービス従事者を養成するため、研修会を開催していますが、一般の受講者が少なく実際の雇用に至っていません。そのため訪問介護員によるサービス提供となりますが、事業所の人員不足により実施が難しい状況です。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用者数	人	3	5	2

③ 住民主体の支援による訪問型サービスの実施（訪問型サービスB）

【現状と課題】

- ・事業実施について検討しましたが調整が進まず、第7期計画期間中では実施していません。

④ 短期集中型の訪問型サービスの実施（訪問型サービスC）

【現状と課題】

- ・平成29年度より事業委託により実施しています。
- ・生活機能の向上のため専門職の短期間集中的な介入により利用者が地域の通いの場等への社会参加へ繋げる事を目標に取り組んでいます。
- ・利用者数が伸び悩んでおり、現在は地域ケア会議の場でのサービス対象者抽出が主となっているため事業の周知が課題です。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用者数	人	5	3	2

⑤ 移動支援サービスの実施（訪問型サービスD）

【現状と課題】

- ・事業実施について検討しましたが、調整が進まず、第7期計画期間中では実施していません。

（2）通所型サービスの推進（第1号通所事業） 【担当課：高齢者支援課】

① 旧介護予防通所介護相当のサービスの実施

【現状と課題】

- ・旧介護予防通所介護相当のサービス提供実績は、2,600件前後で推移しています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用件数（延べ）	件	2,640	2,872	2,539

② 緩和した基準による通所型サービスの実施（通所型サービスA）

【現状と課題】

- ・市のサービス基準を、運動機能と口腔機能に特化した形で設定し、平成30年度より事業所に委託をして実施しています。また、自立支援を念頭に事業を進め、数名の卒業者を地域の一般介護予防事業につないでいます。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響や、事業の周知の問題等で利用者が伸び悩んでいることが課題です。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用者数	人	20	41	19
サービス卒業者数	人	2	13	2

③ 住民主体の支援による通所型サービスの実施（通所型サービスB）

【現状と課題】

- ・事業実施について検討しましたが、調整が進まず、第7期計画期間中では実施していません。

④ 短期集中型の通所型サービスの実施（通所型サービスC）

【現状と課題】

- ・令和元年度以降、送迎に対応できない等の理由から委託事業所が確保できない事やサービスの需要がないことから実績なしの状況となっています。
- ・今後は他の介護予防事業とのすり合わせを行い、ニーズに合ったサービス提供の形を検討する必要があります。

(3) 介護予防ケアマネジメントの実施（第1号介護予防支援事業）

【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・介護予防プラン作成が円滑に推進できるよう、地域ケア会議等を活用した自立に向けた適切なプラン作成の支援を行っています。
- ・指定介護予防支援事業（ケアマネジメント）を受託してくれる事業所が減ってきており、地域包括支援センターへの負荷が大きくなっています。
- ・第7期計画に揚げていた介護予防プランの委託に関するマニュアル（評価基準など）づくりが実施できていません。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
介護予防ケアマネジメント（ケアプラン） 実施件数	件	3,538	3,248	2,913

点検3 介護保険給付サービスの推進

1. 介護保険給付サービスの適正給付

(1) 介護費用適正化事業 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・主任介護支援専門員1名、介護支援専門員2名を配置し、ケアプランのチェックを行い、ケアマネへの指導、事業所への実地指導を行うなど、適性化に努めています。
- ・ケアプラン点検を行うことにより、介護保険事業の健全かつ円滑な運営及びケアマネジメントの質の向上に繋がっています。
- ・介護給付の適性化を図ることにより、利用者に対する適切な介護サービスを確保するとともに、介護給付費や介護保険料の増大を抑制することができます。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
支援専門員数	人	3	3	3

(2) 介護認定業務の充実 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・県主催の研修会を本市内にて実施し、調査員・審査員の資質向上、認定業務事情の把握、課題の共有等ができました。また、調査判定の認識の統一、特記事項の内容充実、認定審査会資料の配布前精査の実施などを行いました。
- ・医療機関内地域連携室との相互連携の強化（調査場所・時期等の認識の一致）、ケアマネジャーとの相互連携（調査場所・時期、適正な区分変更申請等の指導等）、総合事業と認定申請との振り分け（軽度介護者、サービス未利用者の更新申請時の総合事業への繋ぎ）が課題となっています。

(3) 低所得者対策 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・低所得者や生活保護受給者に対し、社会福祉法人等が社会的な役割を担い、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ることが目的で、現在3カ所の社会福祉法人が実施しています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
支援実施対象者数	人	3	3	3

2. 介護保険サービスの質的向上と提供量の確保

(1) 居宅サービスの充実 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・平成 30 年度に居宅介護支援事業所の指定権者が県から市へ移行したことで、居宅介護支援事業所の実地指導や集団指導を行っています。
- ・実地指導を行うことにより、介護保険事業の健全かつ円滑な運営及びケアマネジメントの質の向上に繋がっています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
実地指導	件	10	15	7
集団指導	回	1	0	1

(2) 施設サービスの充実 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・施設サービスの向上を図るため、随時支援を行っています。介護老人福祉施設の入所待機者は十数名で、県内他市町村と比べて待機者は少ない状況です。

3. 地域密着型サービスの整備推進 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・地域密着型介護サービス（小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護、認知症対応型共同生活、認知症対応型通所介護）については、サービス事業所の質の確保を図るため、定期的に事業者ごとに実地指導や集団指導を行いました。
- ・小規模多機能型居宅介護事業所は一部公共施設を活用して指定管理を行っているが、施設の老朽化のため第 8 期計画期間中で指定管理が修了するため施設整備が求められます。
- ・認知症対応型共同生活について、7カ所中廃止が 1 件、休止中が 2カ所あり、新たな施設整備が求められます。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
実地指導	件	7	8	7
集団指導	回	1	HP へ資料 掲載のみ	HP へ資料 掲載予定

点検 4 地域生活の包括的支援の推進

1. 地域包括支援センターの運営充実

(1) 地域包括支援センターの機能向上 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・ 2 法人に委託していた地域包括支援センター（旧平良地区、旧郡部）は、公募の結果、1 法人（社会福祉協議会）への委託となりました。
- ・ 地域包括支援センター運営協議会を年 2 回開催し、事業実績、収支決算報告の他、地域包括支援センターから重点取組や課題など現場目線での発言の場を設け、委員との意見交換を図ることで内容のある運営協議会の実施に努めています。また、地域包括支援センターの事業評価を行い、運営内容の確認と振り返り、助言を実施しています。なお、地域包括支援センターの役割は、年々大きくなっており、従事する職員の充実が必要とされていますが、専門職の確保が難しく、職務や人員の確保等について柔軟な支援を行う必要があります。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
地域包括支援センター運営協議会開催数	回	2	2	2

(2) 介護予防ケアマネジメント事業の充実 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・ 地域包括支援センターに委託し実施しています。
- ・ 事例検討会や研修会を開催し、介護予防ケアマネジメントのアセスメント力向上を図っているほか、主任介護支援専門員や専門職に相談できる機会を定期的に設け、介護支援専門員の支援を行っています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
介護支援専門員支援への相談件数	件	52	48	56

(3) 相談体制と連携の強化 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・定期的に地域包括支援センター、関係部署・関係機関、生活支援コーディネーターと、情報交換・共有と協議の場を設け、地域における高齢者の支援に繋がるよう、連携を深めました。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
全体連絡会開催回数	回	12	12	12

(4) 権利擁護の推進 【担当課：高齢者支援課】

① 高齢者虐待予防への対応強化

【現状と課題】

- ・地域包括支援センターをはじめとして、高齢者虐待防止ネットワーク会議に参画する関係機関と密に連携し、虐待事案発生時の迅速な対応、緊急的な一時保護などを実施しています。また、民生委員、老人クラブ、高齢者の集い場などへ、高齢者の権利擁護についての周知啓発活動を実施しています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催回数	回	1	1	1

② 日常生活自立支援事業(旧地域福祉権利擁護事業)の活用促進

【現状と課題】

- ・本事業の利用対象となる高齢者、またはそのご家族等に対し、事業内容の周知を図っており、利用ニーズは増加しています。
- ・事業実施主体である社会福祉協議会での人員確保に課題があり、新規利用契約の停滞が課題となっています。

③ 成年後見制度の周知・広報

【現状と課題】

- ・パンフレット等の配布を通じて、制度利用にかかる周知広報、窓口での制度利用相談への対応を行い、周知広報に努めています。

④ 成年後見制度利用支援事業

【現状と課題】

- ・ 制度利用の対象となる高齢者等が利用にかかる費用負担が困難な場合に、その全部又は一部を助成し、制度利用が滞ることのないよう、予算措置をしています。また、身寄り等がなく、申立手続きを行う者が居ない場合に市長による申立を実施しています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
成年後見市長申立の実施件数	件	2	3	1

(5) ケアマネジメント支援の充実 【担当課：高齢者支援課】

- ・ 事例検討会や研修会を開催し、介護予防ケアマネジメントのアセスメント力向上を図りました。また、主任介護支援専門員や専門職に相談できる機会を定期的に設け、介護支援専門員の支援を行いました。(再掲)

(6) 地域ケア会議の充実 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・ 地域ケア個別会議を2カ所の地域包括支援センターと市で共催し、定期的を実施しています。理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師など、必要に応じて多面的な専門職が参加し、予後予測を含めた自立支援のアドバイスを受けるなど、ケアマネジャーが必要な支援の方向性を確認できる場としています。
- ・ 個別事例の検討から積み上がった地域課題を整理していますが、既存サービスの改善や新たな社会資源の開発には至っていません。また、アドバイザーとしての専門職の人材が不足しており、その確保に苦慮しています。

実績		単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
地域ケア個別会議	実施回数	回	39	44	23※
	検討事例数	件	159	201	86※
全体地域ケア会議 実施回数		回	—	—	1

※ 令和2年12月現在

2. 在宅医療・介護連携の推進 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・令和元年7月までは地区医師会へ委託して実施していましたが、現在は市直営での実施となっています。
- ・県・保健所・医療機関・介護サービス事業所等の関係者との協働・連携推進のため研修会の開催をもって顔の見える関係づくりを行っています。
- ・高齢者入所施設や通所系サービス事業所等での感染症発生時、及び在宅での感染症発症時の、要介護高齢者への支援体制づくり等が求められています。

3. 認知症施策の推進

(1) 認知症の早期診断・早期対応体制の充実 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・認知症初期集中支援チームは、認知症の人やその家族に対し、発症初期の段階から集中的・包括的に関わり、必要な医療や介護サービスへの繋ぎを行っています。
- ・認知症地域支援推進員は、家族介護者からの相談への対応、地域住民向けの認知症啓発講座、初期集中支援チームの普及啓発活動なども展開しています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
初期集支援チームによる対応件数	件	99	65	60

(2) 認知症支援のネットワークの推進 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センターが集まり、認知症関係機関会議を開催し、各機関の事業実施状況の把握や情報の共有などを行っています。
- ・徘徊ネットワークについては実施体制が整わず、未実施となっています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
認知症関係機関会議開催回数	回	2	4	2

(3) 若年性認知症への支援 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・沖縄県が設置する新オレンジサポート室と連携し、相談窓口の紹介や情報啓発のためのパンフレット配布などを実施しています。

(4) 認知症サポーターの養成 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・各地の自治会や単位老人クラブ、通いの場などでのサポーター養成講座の開催、児童生徒へ向けてのキッズサポーター養成講座の開催などに取り組んでいます。
- ・企業、事業所等へ向け、認知症サポーター養成講座開催と受講を呼びかけていますが、実施できていません。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
サポーター養成講座開催回数	回	9	11	9

(5) 認知症家族介護者への支援 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・認知症カフェを定期開催しており、認知症高齢者本人だけでなく、そのご家族や地域住民の方なども参加しています。そこは、当事者同士の語らいの場として、また、家族介護者の相談の場としても活用されています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
認知症カフェ開催回数	回	—	43	35

4. 生活支援サービスの基盤整備

(1) 生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置と活動の推進

【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・宮古島市全域を担当する第1層生活支援コーディネーター、日常生活圏域を担当する第2層コーディネーターの配置に努めています。圏域ごとの配置を目指していますが、安定した配置ができていない状況です。
- ・コーディネーターが不足である事により、第1層コーディネーターと第2層コーディネーターの役割分担が難しい状況にあります。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
第1層コーディネーター配置人数	人	1	1	1
第2層コーディネーター配置人数	人	2	2	1

(2) 協議体の設置推進 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・第1層協議体への第一歩として、宮古島市全体ケア会議を活用し取り組みました。初回という事で情報共有が主となっています。
- ・第2層協議体（日常生活圏域）の実施にむけて、小地域での協議体を開催しました。単発での開催となっているため、体制整備の推進までつながっていない事が課題です。

5. 高齢者の生活を支援するサービスの充実

(1) 食の自立支援事業（地域支援事業・任意事業） 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・月曜日から金曜日の間で週3回以内の昼食となっていますが、土日祝祭日も行ってほしい、また、回数も増やしてほしいとの要望があります。また、チケット制を採用していますが、チケットの購入や回収が利用者や事業者の負担となっています。
- ・高齢者向けの食事内容になっていない場合もあり、高齢者の趣向への対応も課題です。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用者数	人	123	125	130

(2) 寝たきり老人等日常生活用品給付事業（包括的支援事業・任意事業）

【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・在宅の寝たきり高齢者及び在宅の認知症高齢者に対し、日常生活用品を給付し、介護者の経済的負担の軽減等を図っています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用者数	人	98	85	89

(3) 軽度生活援助事業（市の単独事業） 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・事業のサービスメニューは多岐に渡るが、実績として、屋内・屋外の清掃等のみの援助しかない状況です。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用者数	人	5	6	4

(4) 高齢者外出支援タクシー利用助成事業（市の単独事業）【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・外出の機会が増えて生活の圏が広がっています。
- ・自動車免許を返納した高齢者で課税世帯への支援が課題です。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
サービス利用者数	人	70	78	89

(5) 訪問理・美容サービス事業（市の単独事業） 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・外出等ができない高齢者の身体清潔と精神的リフレッシュのために利用されています。
- ・理容店の利用が少なくなっています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
サービス利用者数	人	9	7	6

(6) 老人日常生活用具給付等事業（市の単独事業） 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・要援護高齢者や一人暮らし高齢者等に、日常生活の不安解消と見守りを兼ねて、電話機などの日常生活用具を給付し設置しています。
- ・携帯電話の普及もあり固定電話は減少しています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
サービス利用者数	人	13	12	12

(7) 生活管理指導短期宿泊事業（市の単独事業） 【担当課：高齢者支援課】

- ・3か所の特別養護老人ホームと契約し、対応しています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
サービス利用者数	人	2	6	4

(8) 家族介護慰労金支給事業（市の単独事業） 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・これまでの実績は、平成27年度の1件のみです。
制度についての問い合わせ、相談はありますが、支給対象者の条件が厳しいこともあり、支給まで至っていません。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用者数	人	0	0	0

(9) 老人保護措置事業（市の単独事業） 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・介護サービスや生活支援サービスなどを利用しても地域で生活出来ない方の、生活場所を提供することができました。
措置対象の方が少なくなってきました。施設の定員数の変更も含め、養護老人ホームの在り方を検討する必要があります。

(10) 高齢者見守り事業（包括的支援事業・任意事業） 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・定期訪問や緊急通報時の随時訪問により、利用者の体調チェックや安否確認を実施するとともに、日常的な声かけや会話、相談等により、生活の安全確保と高齢者の不安解消に努めています。
- ・独居世帯で市内に身内がない場合で、緊急時、救急搬送が必要となった時に、協力者を探すのに時間がかかる事が課題となっています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
サービス利用者数	人	122	127	116

点検 5 地域の福祉力向上の推進

1. 地域の福祉力向上の推進

(1) 安心して住み続けられる地域ネットワークの構築 【担当課：社会福祉協議会】

【現状と課題】

- ・現在までに懇談会を含め 23 か所でのネットワーク会議が開催されてきましたが、自治会活動のみでも多忙な中、定期的な活動として定着させることが難しい実態があります。
- ・「見守りに関する事業」の主体が社協のため、「CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の促しがないと開催されていない。」、また、「個人情報の管理、判断の責任等、ボランティア活動に重圧を感じている。」などの声がネットワーク会議で出されています。
- ・規模の大きい旧市部の自治会については、見守り対象の名簿を取得するのが難しく、順調に進んでいません。

実績		単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
小地域ネットワーク協力員 会議の開催	開催箇所数	か所	10	11	27
	開催回数	回	12	13	23
	活動者数	人	248	245	未集計

(2) 地域人材の確保 【担当課：社会福祉協議会】

【現状と課題】

「(1) 安心して住み続けられる地域ネットワークの構築」の中で対応しています。

2. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアの育成支援 【担当課：地域福祉課、社会福祉協議会】

【現状と課題】

- ・ボランティアセンターを設置し、ボランティア保険の加入事務手続きや登録、マッチングを行っています。また、ボランティア団体や学校のボランティア活動へ助成を行うことで、活動の推進を図っています。
- ・現状の課題として、助成を受けている団体が手話関係、学校関係が中心となっており、一般の福祉ボランティア団体が少ないことがあげられます。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
ボランティアの募集・マッチング	回	9	10	2
ボランティア活動保険の加入事務	か所	62	62	30
ボランティア団体助成金	か所	19	14	14

(2) 児童生徒のボランティア活動の充実 【担当課：地域福祉課、社会福祉協議会】

【現状と課題】

- ・ 中高生を対象としたボランティア体験学習は夏休みに開催し、毎年多くの生徒が参加しています。
- ・ 社会福祉協議会主催の事業や障がい者スポーツ大会へのボランティア依頼等を行い、中高生のボランティア参加の促進とマッチングを行っています。
- ・ 現在は社会福祉協議会や関係団体の事業の中でボランティアを募ったり、体験学習からの実践の流れで施設等へのボランティアを行っています。より自主的な地域での活動につながる学習を進める必要もあります。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
サマーボランティア体験学習	回	1	1	0

(3) 高齢者によるボランティア活動の参加促進

【担当課：地域福祉課、社会福祉協議会】

【現状と課題】

- ・ 通いの場事業、いきいき百歳体操、いきいきふれあいサロンへの参加運営に関われるよう、民生委員児童委員の会議等で案内を行い、ボランティア講座の開催や広報を通じて実績が上がってきています。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
通いの場	か所	28	32	32
いきいき百歳体操	か所	23	30	31

3. 福祉教育の推進 【担当課：地域福祉課、社会福祉協議会】

【現状と課題】

- ・ 小中高校にて「ハンディキャップ体験学習」を実施し、障がいや車イスの体験をすることで、子どもたちの障がいや生活環境に関する理解と発見を通して、思いやりの気持ちを育みます。
- ・ 体験学習のメニューの中に「福祉講話」を設け、当事者や専門職の話聞くことでより理解を深めていくよう取り組んでいます。
- ・ 開催校をいかに増やしていくか、いかにして一般企業・団体の参加を進めていくかが課題です。

実績	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込)
ハンディキャップ体験学習	回	8	7	8

点検6 生きがいつくりの推進

1. ふれあい、交流機会の拡充

(1) 交流機会の拡充 【担当課：地域福祉課、社会福祉協議会】

① 世代間交流

【現状と課題】

- ・社会福祉協議会では子育て支援事業「つどいの広場くれよん」を運営しており、その中で事業所へ通う親子で、いきいき教室（介護予防普及啓発事業）にて交流を持つ他、地域の保育園児との交流会や、一人暮らし高齢者激励会等への園児の参加依頼を行っています。
- ・定期的な交流が行えているわけではなく、年に1回実施するイベント的な取組となっているため、地域の高齢者と子どもたちとの定期的・継続的な交流の機会となっていないことが課題です。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
地域高齢者、見守り協力員、保育園園児交流会	回	3	1	0
運動会・文化祭	回	0	0	0

② ふれあいいきいきサロン

【現状と課題】

- ・令和2年度12月末現在で23カ所のサロンへ支援を行っています、併せて、地域の高齢者が気軽に参加できる場として広報紙等での広報も行っています。
- ・基本的に運営はボランティアが中心となっているため、今後継続していくために地域のボランティア確保が必要となります。
- ・市の通いの場事業、いきいき百歳体操と内容が似ていることもあり、地域の高齢者や運営ボランティアが、自分達にあった取組を選択できるようになっています。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
いきいきふれあいサロン	か所	22	22	23

(2) 老人クラブの活動支援 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・宮古島市老人クラブ連合会が主体となり、行政、社会福祉協議会、地区民生員との情報確認や連携を密にし、活動を支援します。
- ・高齢者の健康の維持・増進・生きがい対策・社会参加事業の推進を目的としています。今後、事業拡大する場合、予算その他の支援も必要になると思われま

(3) 敬老の日事業 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・高齢者を敬い長寿を祝うために、敬老会の開催や祝い金、記念品の支給を実施しています。敬老会の開催にあたっては、開催内容を検討するなど趣向を凝らし、参加促進を図っています。
- ・敬老祝い金については、70歳以上の方へ、記念品は新88歳、新100歳の方への支給を行っています。

2. 生涯学習、生涯スポーツ活動の推進

(1) 長寿大学の実施 【担当課：高齢者支援課】

【現状と課題】

- ・参加者は横ばいですが、高齢者の社会参加の促進を図るためには、参加者を増加させる必要があります。

実績	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込)
長寿大学受講者	人	2,806	997	—